

平成30年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人ほほえみ	代表者	上野利恵子	法人・事業所の特徴	小規模多機能ホームなごみでは、介護が必要な状態になった時でも住み慣れた地域での生活を継続していけるよう、「通い」「訪問」「宿泊」を柔軟に組み合わせてサービスを提供します。また、サービス付き高齢者向け住宅を併設し、小規模多機能のサービスと組み合わせて24時間安心した生活を提供しています。
事業所名	小規模多機能ホームなごみ	管理者	庄島司		

出席者	市町村職員	知見を有する者	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	人	1人	人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所自己評価を開始する前に全職員へ外部評価に関する講習を行い、内容と精度の向上に努めます。また、講習は全職員が受講できるよう日程を調整します。	・事業所自己評価を開始する前に資料を使用して外部評価に関する伝達を行いました。	・特になし。	・新入職者に対しても、外部評価に関する講習を行い、内容と精度の向上に努めます。
B. 事業所のしつらえ・環境	・事業所へ地域の方々が訪れた時に不快な思いをしないよう整理整頓と環境整備、清掃活動を行っていきます。	・事業所内の清掃と整理整頓を行いました。日常の換気を行うことで臭気対策を行いました。	・特になし。	・事業所へ地域の方々が訪れた時に不快な思いをしないよう整理整頓と環境整備、清掃活動を継続していきます。
C. 事業所と地域のかかわり	・事業所は、法人内の相談窓口の一つとして、地域からの相談へ対応していきます。また、必要に応じて他部署と連携を取り、本人・家族、地域の方々が安心して暮らせる地域づくりを行います。	・相談があった時は対応を行いました。必要に応じて法人内の別の事業所への連絡調整を行いました。	・事業所は、地域の中で知られてきていると思います。	・事業所は、法人内の相談窓口一つとして、地域からの相談へ対応していきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者の希望に沿って、地域行事への参加と地域の社会資源活用のための連絡調整や付き添い等必要な支援を行います。	・希望に沿って地域の社会資源活用のための連絡調整や付き添い等の必要な支援を行いました。	・個別での買い物同行で、地域の社会資源の活用を行いました。	・利用者の希望に沿って、地域行事への参加と地域の社会資源活用のための連絡調整や付き添い等必要な支援を継続していきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議では、事業所の報告だけでなく、地域の方々の困りごとや相談等意見を積極的に収集し、解決に向けた検討の場の連絡調整等の取組みを行っていきます。	・運営推進会議で地域の方々の困りごとや相談等意見の収集を行いました。	・特になし。	・運営推進会議の中で、地域の方々の困りごとや相談等意見を積極的に収集し、解決に向けた取組みを継続していきます。
F. 事業所の防災・災害対策	・運営推進会議の中で、防災計画の内容や事業所の防災訓練についての情報を地域の方々に向けて発信していきます。	・防災計画の内容や防災訓練の状況を報告することはできませんでしたが、法人が地域の福祉避難所としての役割を担っていることについて話す事ができました。	・地域の防災訓練はありません。	・運営推進会議の中で、防災計画の内容や防災訓練についての情報を地域の方々に向けて発信していきます。